

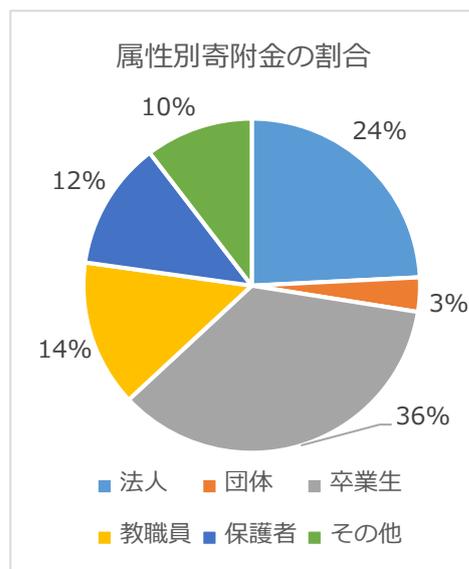
# 信州大学知の森基金 令和2年度事業報告

## 1. 寄附受入状況

寄附受入総額：40,951,856円

内 独立会計（指定事業※）分を除く受入総額：40,081,856円

		銀行振込	クレジットカード	古本募金	合計	
法人	件数	95	0	0	95	
	金額	9,700,000	-	-	9,700,000	
団体	件数	5	0	5	10	
	金額	1,323,180	-	6,083	1,329,263	
個人	卒業生	件数	310	180	8	498
		金額	9,313,799	4,912,000	13,898	14,239,697
	教職員	件数	18	149	0	167
		金額	787,000	4,897,000	-	5,684,000
	保護者	件数	61	42	1	104
		金額	2,412,000	2,555,000	5,178	4,972,178
	その他	件数	34	45	2	81
		金額	3,095,000	1,058,000	3,718	4,156,718
	個人計	件数	423	416	11	850
		金額	15,607,799	13,422,000	22,794	29,052,593
合計	件数	523	416	16	955	
	金額	26,630,979	13,422,000	28,877	40,081,856	



内 独立会計（指定事業※）分：870,000円

項目	件数	金額
博士人材育成支援事業	5	430,000
附属学校園支援事業	7	440,000
合計	12	870,000

※指定事業

知の森基金の支援事業の新たな枠組みとして、平成30年度に新設。指定事業の募金活動及び寄附金の管理は、担当部局の責任において、知の森基金の他の寄附金と独立して行う。

令和2年度の寄附受入総額は40,951,856円（独立会計を除く受入総額：40,081,856円）となり、前年度の17,943,670円（独立会計を除く受入総額：16,583,670円）から大幅に増収となっているが、これは新型コロナウイルス緊急学生経済支援を実施した影響で個人からの寄附が増加したためである。

また、知の森基金専任のファンドレイザーが地域企業への訪問を積極的に行っており、その効果によって、法人による寄附金額については、前年度より約90万円増収となった。今後もファンドレイザーと連携し、法人からの寄附金受入増強を図っていきたい。

なお、同窓会報等に振込用紙を同封してもらっていることから、卒業生・保護者からの寄附は銀行振込の割合が多いが、全体的にクレジットカード利用者も増えてきている。令和3年度には寄附者の利便性向上のためコンビニ払い、ペイジー払いも選択できるようになるため、そういった新たな取り組みも含めて寄附金の安定確保を図っていきたい。

## 2. 学生支援実施状況

### 2.1. 奨学金事業

#### ①信州大学 入学サポート奨学金

本学へ進学を希望しながら、学業優秀であるが経済的理由により進学を断念せざるを得ない高校生に対して、入学時に必要となる学資の一部を支援した。

支援実績 8名 計 3,200,000円 (高等教育修学支援制度の採用状況により変更の可能性あり)

#### ②信州大学 大学院奨学金

信州大学の修士課程2年次に在籍し、継続して博士課程への進学を希望する優秀な学生に対して、授業料等の一部を支援した。

支援実績 7名 計 2,100,000円

### 2.2. グローバル人材育成支援事業

#### ①学生の短期海外活動支援(3ヶ月未満)

各学部、グローバル化推進センター等が企画するプログラムに対して往復渡航費の一部を支援する。

支援実績 0名 計 0円 (※1)

#### ②学生の海外活動支援(3ヶ月以上)

本学と海外の大学との間で締結した大学間協定又は学部間協定に基づき、海外の大学に交換留学する学生に対して、海外活動のための奨学金を支給する。

支援実績 0名 計 0円 (※1)

(※1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の実施は見送った。

#### ③外国人留学生への経済支援

正規留学生を確保・拡充するため、意欲的で優秀な質の高い私費外国人留学生に対して奨学金を支給した。

支援実績 20名 計 7,480,000円

#### ④国費留学生からの大学院進学者への特別奨学金

優秀な質の高い国費外国人留学生のうち、奨学金支給期間延長に申請できなかった者に対して信州大学の大学院での学びをサポートする目的で奨学金を支給した。

支援実績 1名 計 1,200,000円

### 2.3. 附属図書館の充実

古本募金による寄附金を附属図書館の充実のために活用した。

支援実績 計 175,955円

## 2.4. 新型コロナウイルス緊急学生経済支援

### ①学生経済支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的に困窮する学生に対して返還不要の給付金を給付した。

**支援実績 1071名 計 32,130,000円** (※日本学生支援機構からの寄附金による支援を含む。)

### ②留学生入国特別支援

新型コロナウイルス感染症に起因した国際的な往来再開により入国する外国人留学生に対して、返還不要の給付金を給付した。

**支援実績 27名 計 2,625,000円**

**※受入実績：新型コロナウイルス緊急学生経済支援分：28,272,959円**

(1.寄附受入状況の内数)

		銀行振込	クレジットカード	合計	
個人	卒業生	件数	293	175	468
		金額	9,012,959	4,885,000	13,897,959
	教職員	件数	17	142	159
		金額	782,000	4,591,000	5,373,000
	保護者	件数	60	42	102
		金額	2,402,000	2,555,000	4,957,000
	その他	件数	32	42	74
		金額	2,990,000	1,055,000	4,045,000
	個人計	件数	402	401	803
		金額	15,186,959	13,086,000	28,272,959
合計		件数	402	401	803
		金額	18,176,959	13,086,000	28,272,959

新型コロナ緊急学生経済支援  
属性別寄附金の割合

属性	割合
卒業生	49%
教職員	19%
保護者	18%
その他	14%

■ 卒業生 ■ 教職員 ■ 保護者 ■ その他

## 2.5. 指定事業

### ①博士人材育成支援事業

「博士課程教育リーディングプログラム」等に参加する大学院生に対して支援した。

**収入合計 2,944,700円**

**支出合計 0円**

**残 額 2,944,700円**

### ②附属学校園支援事業

松本と長野に所在する信州大学教育学部の附属学校園での諸事業に用途を限定して支援する。

**収入合計 440,000円**

**支出合計 0円**

**残 額 440,000円**

### 3. 支援を受けた学生の声

#### グローバル人材育成支援事業

- ◆ コロナウィルスの影響を受け、授業はオンラインになり、アルバイトも減少してしまった。その中で知の森奨学金をいただけるようになってから、生活上の不安を解消することができた。今後知の森奨学金に感謝を忘れず、社会に役立つ人になるように目一杯に取り組んでいる。(中国：学部生)
- ◆ コロナの影響で、アルバイトがなくなり、両親の収入も減少し母国からの送金が減りました。知の森基金のお陰で、多くの時間は勉学に集中できました。生活費の一部も負担が減りスムーズな大学生活ができました。(中国：学部生)
- ◆ 奨学金をいただいて、学校の勉強に大変役に立ちます。学費の負担と勉強の参考書のお金を節約できるようになりました。アルバイトの時間を減らして、勉強時間や趣味をする時間を増やせます。(ベトナム：学部生)
- ◆ 博士としての研究活動の時間を保証するために、学外のアルバイトをしていなく、研究室でのアルバイト代で生活を送っており、経済的にはなかなか厳しい状況でしたが、奨学金のご支援があり、経済的な圧力が軽くなり、研究により集中できるようになっております。今年の9月に1回国内学会に発表することができ、現在では研究成果を来年の2月に国際学会に投稿できるよう、研究と実験のほうを努力しております。(中国：大学院生)
- ◆ 奨学金の提供については、勉強に大いに役立ちました。留学生にとって、日本はたくさんのお金を消費します。私は日本語が苦手なので日本では働きません。生活支援に加えて、奨学金は水、電気、ガスなどの生活費もカバーすることができます。この奨学金により、私は勉強と研究に集中することができます。(台湾：大学院生)